

## 活動報告 3 専任教員

雑誌名	日本伝統音楽研究
号	15
ページ	83-91
発行年	2018-06-30
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1290/00000298/">http://id.nii.ac.jp/1290/00000298/</a>



## 時田アリソン Alison Tokita

## ◆受賞

28 回 小泉文夫音楽賞受賞

## ◆研究活動

\* 科学研究 (代表) 基盤研究 C「植民地における近代音楽の帰属意識—東アジアとオーストラリアの芸術歌曲の場合」平成 27 年～29 年 課題番号 15K02117

\* ジュネーブ高等音楽院の F. ビッジ先生と「Oulomenen: イタリアと日本の語り物の比較研究」

## ◆著作活動

\* 「浪花節 (浪曲) のレパートリーの分析 — 伝統と未来」*The narrative worlds of contemporary naniwa-bushi (rōkyoku)* 『日本伝統音楽研究』14 号

\* 書評: マーガレット・メール『愛のみならず—一八五〇～二〇一〇年の日本におけるヴァイオリン』『日本研究』第 57 種 I (2018 年 3 月) 255-257 ページ

公開講座冊子

\* *The "Heike Brothers" and the 700-year Transmission and Reception of Heike Musical Narrative* シンガポール大学 Perform Contemporary Tradition プロジェクト  
<http://performct.nus.edu.sg/generic/the-heike-brothers-and-the-700-year-transmission-and-reception-of-heike-musical-narrative/index.html>

\* 「日本の語り物と世界の語り物」2018 年 2 月 11 日公開講座『日本・イタリア、二つの語り物』(Singers of Tales in Italy and Japan) 冊子 2-10 ページ

## ◆講演・口述活動

\* 2017・6・08 小泉文夫音楽賞授賞式講演「浪花節の語り物性」(The relation of naniwa-bushi

to other genres of Japanese story-singing) 東京会館

<https://www.geidai.ac.jp/labs/koizumi/award/28at1.pdf>

\* 2017・6・10 28 回小泉文夫音楽賞受賞記念講演「東アジアとオーストラリアの音楽と近代: 芸術歌曲を事例にして」東洋音楽学会西日本支部定例研究会・日本音楽学会西日本支部例会合同開催、京都同志社大学今出川キャンパス

\* 2017・6・11 「日本の音楽」京都コンベンション・ビューロー講演

\* 2017・6・28 *From Glory to Opprobrium: Composers of Art Song in Pre- and Postwar Japan and Beyond* オーストラリア日本研究学会大会 University of Wollongong

\* 2017・7・4 モナシュ大学訪問、研究意見交換

\* 2017・7・9 盲僧琵琶研究会に参加、成城大学、東京

\* 2017・7・18 *Telling Tales, Singing Tales: Japanese narrative traditions* 同志社女子大学 Graduate School Colloquium

\* 2017・9・1 *Audience-performer relations in naniwa-bushi musical story-telling* ヨーロッパ日本研究学会、Universidade Nova de Lisboa ポルトガル・リスボン、

\* 2017・10・26 *Where are the Japanese Women Composers? Research and Archives* (日本の女性作曲家たち) 梨花女子大・音楽学部国際シンポジウム「女性作曲家のアーカイブ」

\* 2017・11・11～12 東洋音楽学会大会出席、沖縄県立芸術大学

\* 2017・11・25 「世界の中の日本芸能—語り物を中心に」講演、神戸女子大学古典芸能研究センター研究プロジェクト「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」

\* 2018・1・15～20 中国語り物見学する日本伝統芸能訪中団 (招請団体: 中国曲芸家協会、実施

団体：日本中国文化交流協会）に参加

- \* 2018・2・11 「日本の語り物と世界の語り物」  
退任記念公開講座講演、ウィングス京都
- \* 2018・2・13 「浪曲の講談ものシリーズ」国際  
日本文化研究センター・京都市立芸術大学日本伝統  
音楽研究センター共同シンポジウム『浪花節と講談  
の関係を探る』
- \* 2018・2・17 「語り物と物語から見た日本文化  
史」西山文化を語る会、京都ホテルエミナース
- \* 2018・2・26 *Jōruri and naniwa-bushi: art  
versus entertainment* ローマサピエンツァ大学  
国際シンポジウム Realms of Words
- 2018・3・12 <楽劇人に聞く>時田アリソン  
氏に聞く。聞き手・薦田治子。楽劇学会第98回例  
会、東京、音羽アカデミー
- 2018・3・17 「オーストラリアの女性作曲家」  
講演。オーストラリア学会第26回地域研究会（関  
西例会）、追手門学院大学
- 2018・3・25 「平家の伝統と伝承」コルシカ島  
ピーニャの Casa Musicale

#### ◆プロデュース活動

- \* 2017・9・17 「箏が洋楽器と紡ぐ音楽 FUSION  
OF HORIZONS: NEW MUSIC FOR KOTO」京  
都文化博物館 別館ホール
- \* 2018・2・9～14 「語り物ウィーク」  
[http://w3.kcua.ac.jp/jtm/events/directors\\_](http://w3.kcua.ac.jp/jtm/events/directors_salon/naniwakodan.html)  
[salon/naniwakodan.html](http://w3.kcua.ac.jp/jtm/events/directors_salon/naniwakodan.html)
- \* 2018・2・11 公開講座「日本とイタリア、二  
つの語り物」ウィングス京都
- \* 2018・3・24～31 『Oulomenon 軍記物語の  
比較研究』日本伝統音楽研究センターとジュネーブ  
高等音楽院の共同研究プロジェクトのワーク  
ショップと演奏会事業、コルシカ島ピーニャピー  
ニャの Casa Musicale とジュネーブ高等音楽院

#### ◆教育・講義活動

- \* 2017・5・3 ライデン大学アンドレア・ジョー  
ライ博士論文評価パネルに参加
- \* 2017・8・15～17 連続講座 E PENDULUM  
「英語による日本音楽概論」
- \* 81042 日本伝統音楽演習 a II・a IV The

sociology of music in globalizing East Asia  
(東アジアの音楽と近代)

- \* 2017・8・2 東京工業大学集中講義「芸術と人  
間」
- \* 2017・9・14～15 愛知県立芸術大学集中講  
義「英語による日本音楽概論」

#### ◆調査・取材活動

- \* 2017・4・4 東京、木馬亭浪曲定席
- \* 2017・5・7 東京、木馬亭浪曲定席
- \* 2017・10・12 作曲家藤家溪子インタビュー
- \* 2017・10・17 作曲家岡田加津子インタビュー
- \* 2017・10・18 大阪天満天神繁昌亭にて、講談  
師旭堂南陵にインタビュー
- \* 2017・10・19 作曲家南弥生にインタビュー
- \* 2017・10・20 浪曲師玉川奈々福にインタ  
ビュー
- \* 2017・10・25 作曲家成本里香にインタビュー
- \* 2017・12・9 春秋座歌舞伎舞踊公演「藤間勘  
十郎の会」
- \* 2017・12・9 常磐津と長唄「双翼会 都の鬼  
二題」安井金比羅宮会館、長唄と常磐津
- \* 2017・12・4 大阪、一心寺門前浪曲寄席
- \* 2017・12・10 大阪、大和座
- \* 2018・1・15～20 中国語り物見学、趙維平  
面談
- \* 2018・3・4～6 お水取り、奈良、東大寺二月  
堂

#### ◆委員会

教育研究審議会  
施設整備委員会  
学術交流推進委員会  
自己点検・評価委員会  
全学人事組織委員会  
全学入試委員会  
芸術資源研究センター運営委員会  
安全衛生委員会  
国際交流委員会

#### ◆対外活動

国際日本研究センター 運営委員会会員  
国際芸術文化アカデミー幹事

京都市芸術文化奨励制度審査員

京都市新人賞審査委員

#### ◆所属学会など

国際文化会館 (1976-)

東洋音楽学会 (1978-)

日本音楽学会 (1993-2005; 2010-)

楽劇学会 (1993-)

口承文芸学会 (1995-2010)

日本漫画研究学会 (2004-2010)

芸能史研究学会 (2010-2015)

オーストラリア学会 (2010-)

Musicological Society of Australia (1978-)

Asian Studies Association of Australia  
(1978-)

Japanese Studies Association of Australia  
(1978-)

Japanese Studies Centre, Melbourne (1981-)

East Asian Library Resources Group of  
Australia (1993-)

Association for Asian Studies (1996-)

Korean Studies Association of Australia  
(1999-)

Australia-Japan Society of Victoria (2000-)

British Association for Japanese Studies  
(1995-2001)

Japan Anthropology Workshop (1995-)

European Association for Japanese Studies  
(1997-)

International Council for Traditional Music  
(ICTM) (2007-)

## 藤田 隆則

#### ◆著作活動

\* 2017.06 研究ノート「なぜ能ではお辞儀をしないのか？」『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』11号 pp.111-130 (2017年06月)

\* 2017.03 書評「Alison Tokita (時田アリソン) 著 *Japanese Singers of Tales: Ten Centuries of Performed Narrative*. (『日本の

「物語の歌い手たち」一上演される語り物の千年の流れ)』『楽劇学』24号 (2017年3月号) pp.118-123

\* 2017.05 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想 (1) —「楽」としての尺八」『楽報 (都山流楽報)』1097号 (2017年5月号) pp.2-4

\* 2017.07 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想 (2) —うたまひ、あそび、もののね—「音楽」以前」『楽報 (都山流楽報)』1099号 (2017年7月号) pp.2-3

\* 2017.07 単著エッセイ「伝統芸能の手 Hands in traditional arts」バイオメカニズム学会編『手の百科事典』朝倉書店 (2017年7月) pp.447-449

\* 2017.09 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想 (3) —座奏のいろいろ—跪踞、立て膝、正座」『楽報 (都山流楽報)』1101号 (2017年9月号) pp.2-3

\* 2017.11 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想 (4) —「中庸」の意味」1103号 (2017年11月号) pp.2-3

\* 2018.01 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想 (5) —尺八と能楽の接点」『楽報 (都山流楽報)』1105号 (2018年1月号) pp.2-3

\* 2018.01 単著エッセイ「第34回田邊尚雄賞授賞式・受賞祝賀会／研究発表 1-B (丹羽幸江、太田暁子、曾村みずき氏の発表) のレポート」『東洋音楽学会会報』第102号、pp.3-4

\* 2018.03 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想 (6) —揺りの起源としての振り」『楽報 (都山流楽報)』1107号 (2018年3月号) pp.2-3

\* 2018.03 単著エッセイ「伝統音楽・芸能の記譜研究」『芸術資源研究センターニューズレター』4号、p.15

\* 2018.03 単著エッセイ「うつしから学ぶ」『状況のアーキテクチャー Situation Design 2017-2018 Report』(2017年度事業報告書)、京都市立芸術大学、p.49

#### ◆口述活動

\* 2017.5月—7月 (毎週水曜日、全10回) 講義

「でんおん連続講座 B 能の囃子・音曲の骨組みを理解する」平成 29 年度前期 京都市:京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

- \* 2017.08.16 Lecture and workshop. "Music of Noh drama." In the Pendulum, the intensive three days course in Japanese music, organized by Alison Tokita from 15th to 17th of August, 2017. Kyoto: Kyoto City University of Arts.
- \* 2017.09.18-20 Lecture and workshop. "Chanting and Music of Noh drama." In the intensive workshop organized by Francis Biggi from 15<sup>th</sup> to 22<sup>nd</sup> of September, 2017. Sarrebourg, France: Le Couvent de Saint Ullrich.
- \* 2017.10.13 ラジオ番組でのインタビュー「能楽について」 ラジオ関西「時間です! 古田編集長」
- \* 2017.11.25 司会担当「古典芸能研究の横断と総合—総合討論」 神戸市: 神戸女子大学
- \* 2017.12.10 ワークショップ「うつしから学ぶ—能楽の謡、笛、太鼓を身体の中につしとる」 拡張された場におけるアートマネジメント人材育成事業「状況のアーキテクチャー」京都市:京都市立芸術大学 @KCUA
- \* 2018.01.27 講演「声明のおもしろさ—修正大導師作法勤修にさきだって」第 14 回西六条魚山会「声明のタベ」京都市中京区:浄土真宗本願寺派正光寺
- \* 2018.03.02 司会担当「文化庁伝統音楽普及促進事業—能は面白い」(代表:河村晴久)、東京:宝生能楽堂

#### ◆プロデュース活動

- \* 2017.06.15 スタンフォード大学/京都市立芸術大学共同事業「インターメディアとしての能—能《半部》《小鍛冶》公開収録」、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター主催平成 29 年度第 1 回公開講座(通算第 48 回)、京都市:金剛能楽堂

#### ◆調査・取材活動

- \* 継続中 謡曲・能の囃子の伝承にかかわる調査

#### ◆学内活動

- \* 国際交流委員会委員
- \* 学術交流推進委員会委員
- \* 教育研究審議会委員
- \* 芸術資源研究センター運営委員、副所長
- \* 大学院音楽研究科兼任(日本音楽研究専攻の授業担当)
- \* 学内非常勤(担当科目:民族音楽学 1b(前期)/音楽学(前期))

#### ◆対外活動

- \* 東洋音楽学会理事(支部事務局担当)
- \* 神戸女学院大学音楽学部非常勤講師(2017.09-2018.03)
- \* 文化庁文化審議会文化財分科会第四専門調査会委員
- \* 所属学会 日本音楽学会、楽劇学会、東洋音楽学会、能楽学会、音楽教育学会、芸能史研究会、International Council for Traditional Music, Society for Ethnomusicology

## 山田 智恵子

#### ◆著作活動

- \* 2018.02.04 小論「開催の趣旨」『義太夫節 通し狂言の復曲 第二回』(日本伝統音楽研究センター第 50 回公開講座配布冊子) p.1
- \* 2018.02.04 エッセイ「私の義太夫節研究」『義太夫節 通し狂言の復曲 第二回』(同上) pp.4-5
- \* 2018.02.04 論文「『けし晶の段』復曲の方法と手順」『義太夫節 通し狂言の復曲 第二回』(同上) pp.8-12
- \* 2018.02.04 編集『義太夫節 通し狂言の復曲 第二回』京都市立芸術大学 山田智恵子教授退任記念 日本伝統音楽研究センター第 50 回公開講座(平成 29 年度第 3 回) 配布冊子、全 60 頁。

#### ◆講座・口述活動

- \* 2017.05.10 ~ 07.12「音楽としての義太夫節」でんおん連続講座 A、毎週水曜日、13 時~ 14 時 30 分、全 10 回 京都市:京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
- \* 2017.05.27 総合司会 義太夫節演奏研究会第

二回研究成果報告会「十代豊竹若太夫を振り返る  
(没後五十年追善)」

第1部講演「義太夫節の音楽」

報告1 太田暁子(東京音楽大学他講師)「『浄瑠璃  
三味線ひとり稽古』を読む その二」

報告2 神津武男(京都市立芸術大学客員研究員)  
「十代豊竹若太夫の演奏の歴史的位置け」

第2部座談会「十代豊竹若太夫の思い出 その二」  
お話 豊竹嶋太夫(人間国宝)、竹本駒之助(人間  
国宝、京都市立芸術大学客員教授)、

聞き手 神津武男、太田暁子

京都、京都市立芸術大学 大学会館交流室

- \* 2017.09.08 講演「町田佳聲と『木やり唄』研  
究」2017年度前期でんおん連続講座F、京都、京  
都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター合同研  
究室1

- \* 2018.02.04 司会「開催の趣旨」、最終講義「私  
の義太夫節研究」

講演「『けし晶の段』復曲の方法と手順」、「『復曲に  
ついて』演奏者と研究者による座談会」京都市立  
芸術大学 山田智恵子教授退任記念 京都市立芸  
術大学日本伝統音楽研究センター第50回公開講  
座、京都、ウィングス京都イベントホール

#### ◆プロデュース活動

- \* 2018.02.04 企画・制作 京都市立芸術大学山  
田智恵子教授退任記念 日本伝統音楽研究セン  
ター第50回公開講座「義太夫節 通し狂言の復曲  
第二回」

#### ◆教育活動

- \* 日本伝統音楽研究、日本伝統音楽基礎演習、原典研  
究(日本古典)Ⅱ、
- \* 「音楽としての義太夫節」でんおん連続講座A、  
5/10～7/12 毎週水曜、13:00～14:30  
全10回。
- \* 独立行政法人日本芸術文化振興会伝統芸能伝承者  
養成「文楽」研修、「義太夫節」講義。

#### ◆調査・研究活動

- \* 公益財団法人ポーラ伝統文化振興会助成研究「義太  
夫節 伝承を失った曲の復元研究とその展開」(平  
成28、29年度)研究代表者。朱(義太夫節三味

線楽譜)入り浄瑠璃本の調査。研究会主催。

- \* 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センタープロ  
ジェクト研究「歴史的音源から見る三味線音楽の音  
楽的研究—町田佳聲とその周辺—」研究代表者。研  
究会開催。

#### ◆学内活動

- \* 京都市立芸術大学理事
- \* 京都市立芸術大学大学院音楽研究科 兼任(日本音  
楽研究専攻授業担当)

#### ◆対外活動

- \* 所属学会  
東洋音楽学会、楽劇学会
- \* 独立行政法人日本芸術文化振興会伝統芸能伝承者  
(文楽)養成講師
- \* 公益財団法人文楽協会評議員

## 田 智 志

#### ◆著述

- \* 2017・09・17「開催にあたって—山名神社天王  
祭の舞ものと屋台囃子—」「舞楽でない山名神社天  
王祭舞楽に舞楽らしさをみる」「山名神社天王祭の  
風景」、田 智 志編『地方に息づく京都祇園祭の芸能 遠  
州森町山名神社の舞もの—日本伝統音楽研究セン  
ター第49回公開講座ガイドブッカー』pp2,16-  
19,24-27。
- \* 2017・12・01「古楽譜解読による青海波—平安  
時代の雅楽を再現する—解説」、データDVD『プレ  
ミアムカラー国語便覧・クリアカラー国語便覧デー  
タ集』、数研出版。音声データ付き(平成28年度  
宇治市源氏物語ミュージアム企画展「源氏物語の音  
楽」展示用音源収録)。
- \* 2018・03・30 4-4章「各論 麒麟獅子舞の囃  
子」・6-6章「麒麟獅子舞囃子採譜集 解説」(廖婉  
婷・藤川桐人採譜)、鳥取県教育委員会編『国選択  
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財「因  
幡の麒麟獅子舞」調査報告書』pp155-171,467。

#### ◆資料

- \* 2018・03・30 出口実紀・田 智 志「附 採譜資料」、  
五條市教育委員会事務局文化財課編『篠原おどり解



説書一歌と踊りの歴史―』pp113-132、五條市文化遺産活用実行委員会発行。

#### ◆講演（実演つきを含む）

- \* 2017・06・01 伝音セミナー「雅楽の今昔―復元・再現演奏を聴く―その2」、日本伝統音楽研究センター合同研究室1。
- \* 2017・09・17 リレー講座「舞楽でない山名神社天王祭舞楽に舞楽らしさをみる」、日本伝統音楽研究センター第49回公開講座「地方に息づく京都祇園祭の芸能 遠州森町山名神社の舞もの―」（田鍬企画構成）、京都市男女共同参画センターウィングス京都イベントホール。
- \* 2017・12・10 「平安時代の楽譜・舞譜の解読による舞楽青海波」、12・9-10 連続講座H「カラダで検証する雅楽研究その1」（田鍬共同研究会メンバーによる）、日本伝統音楽研究センター合同研究室1。

#### ◆出演

- \* 2017・09・08 NHK「歴史秘話ヒストリア：謎の秘宝で日本を変えよ！不屈の天皇ミステリアス紀行」番組内の演奏考証（類箏治要による太平楽急演奏）。
- \* 2018・01・21 「うたかたの花の夢―源氏物語による創作朗読劇と古楽譜による雅楽でつづる―」、京都市西文化会館ウエスティホール。出演：朗読アンサンブル京 Genji・でんおん管絃講（伊藤慶佑・管亭安・陳宗彤・田鍬）。曲目は共同研究会報告に記載。

#### ◆調査

因幡の麒麟獅子舞調査

- \* 2017・04・08-09 鳥取市秋里（荒木三島神社例祭）
- \* 2017・04・10 「麒麟のまち」オープンセレモニー（大阪市中之島フェスティバルタワー内）。
- \* 2017・04・15-16 鳥取市菖蒲（菖蒲神社例祭）
- \* 2017・06・12 第1回調査専門部会（鳥取県庁）
- \* 2018・02・24 第2回調査専門部会（同）・因幡麒麟獅子舞の会定期総会（県民ふれあい会館）

當麻寺二十五菩薩来迎会（練供養）調査

- \* 2017・05・14 當麻寺練供養会式

- \* 2017・10・04 西大寺光明真言土砂加持大法会（奈良市）

- \* 2017・10・15 泉涌寺即成院二十五菩薩お練り供養大法会

共同研究会あるいは第49回公開講座にかかる調査

- \* 2017・07・12 山名神社山王祭舞楽練習取材・石松囃子保存会常磐会インタビュー（静岡県森町）
- \* 2017・07・15 山名神社例祭山王祭舞楽（同町）
- \* 2017・10・14 大住月読神社例祭隼人舞（京田辺市）

その他

- \* 2017・05・08 松尾寺灌仏会仏舞（舞鶴市）
- \* 2017・05・25 十輪寺業平忌秘密三絃大法要（京都府）
- \* 2017・08・15 西川盆踊り（奈良県十津川村）
- \* 2017・11・27 長崎明清楽保存会小曾根家墓所献奏（長崎市）

#### ◆学内活動

- \* 担当科目：日本音楽史Ⅰ（音楽学部）、日本伝統音楽研究、日本伝統音楽基礎演習（大学院音楽研究科）
- \* 自己点検評価委員会、リポジットリ運営委員会、学生委員会
- \* 大学院修士入試委員会、教務委員会

#### ◆対外活動

- \* 鳥取県文化財保護審議会無形文化財・民俗文化財部会「因幡の麒麟獅子舞」調査専門部会専門委員
- \* 五條市文化遺産活用実行委員会委員
- \* 當麻寺二十五菩薩来迎会（練供養）調査委員会委員

## 竹内 有一

#### ◆著作活動

- \* 2018.03.31 編著『常磐津節演奏者名鑑 第7巻―近代5：明治期から昭和期まで（下）―』（常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書2017年度、文化庁補助事業）、常磐津節保存会、122pp
- \* 2017.07.01 編著「常磐津美佐季師にきく―父操太夫師の思い出と常磐津の未来を見据えて―」、『一般社団法人関西常磐津協会機関誌 つどい』47、

pp.1-4

- \* 2017.05.13 解説「地歌舞：鐘ヶ岬」「筑前琵琶：伽羅の兜」「箏曲：鳥のように」「長唄舞踊：連獅子」「地歌：末の契」「長唄舞踊：君が代松竹梅」、「出演者素描」（8名）、国立文楽劇場第33回舞踊・邦楽公演『新進と花形による舞踊邦楽鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.3-8
- \* 2017.10.07 解説「新内節：与話情浮名横櫛一源氏店の段」「常磐津節：朝比奈地獄廻」「一中節：橋弁慶」「清元節：田舎源氏露東雲一古寺」（以上、曲目と出演者紹介）、国立劇場第182回邦楽公演『浄瑠璃鑑賞会一浮世絵の情景一』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.2-10
- \* 2017.10.14 解説「地歌：夕顔」「清元：月」「常磐津：雷船頭」「長唄：旅」「義太夫：しゃべり山姥」「地歌：小簾の戸」「常磐津：関の扉」「清元：お祭り」「長唄：菊の泉」「地歌：古道成寺」、国立文楽劇場第35回舞踊公演『東西名流舞踊鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.4-15
- \* 2018.02.11 解説・詞章「常磐津節『将門』」、時田アリソン所長退任記念第51回公開講座パンフレット、日本伝統音楽研究センター、pp.18-20
- \* 2018.02.25 編曲・作曲（新作浄瑠璃）「伏見の桃太郎 ゆかりの鬼退治」、第3回伏見子ども歌舞伎
- \* 2017.07.11 資料提供（錦絵2点）、配川美加「音で歌舞伎を味わう」『聖教新聞』p.12

#### ◆口述活動

- \* 2017.12.09 解説「都の鬼二題『辰橋』」（今藤政之祐・杵屋浩基・常磐津都代太夫と）、長唄・常磐津節研究会「双翼会」、安井金毘羅宮金比羅会館広間
- \* 日本伝統音楽研究センター共同研究「豊後系浄瑠璃の史料と伝承―常磐津節を中心に―」研究代表者
- \* 勉強会「正本を読む会」座長

#### ◆調査・取材

- \* 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）17K02284「常磐津節の復元的上演に関する基礎的研究」研究代表者
- \* 文化庁補助事業「常磐津節演奏者の経歴に関する調査」（常磐津節保存会）

- \* 常磐津節ほか三味線音楽の伝承・演奏に関わる実態調査（国立劇場・国立文楽劇場・京都南座・大阪松竹座・歌舞伎座・関西常磐津協会ほか）
- \* 常磐津節演奏者個人蔵の記録・譜本・音源資料等の調査
- \* 詞章本出版物（近世版本）等の書誌調査およびデータ作成

#### ◆教育・講義

- \* 前期 でんおん連続講座D「常磐津節実践入門 その5」（全7回）、日本伝統音楽研究センター
- \* 後期 でんおん連続講座G「常磐津節実践入門 その6」（全10回）、日本伝統音楽研究センター
- \* 前期 音楽学特殊研究h、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- \* 後期 音楽学特殊研究i、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- \* 前期／後期 日本伝統音楽演習c、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- \* 前期 音楽学特講h、京都市立芸術大学音楽学部
- \* 後期 音楽学、京都市立芸術大学美術学部
- \* 後期 京都文化学基礎演習、京都府立大学文学部

#### ◆演奏活動（常磐津節浄瑠璃方、芸名：常磐津若音太夫）

- \* 2017.04 常磐津節（歌舞伎）「将門」「身替座禅」、第33回四国こんぴら歌舞伎大芝居、金丸座
- \* 2017.05 常磐津節（歌舞伎）「戻駕」「双面道成寺」、五月花形歌舞伎、大阪松竹座
- \* 2017.07.29 常磐津節「うつぼ猿」（弾き語り）、関西常磐津協会主催「第3回常磐津研修発表会」、大阪市中央会館和室
- \* 2017.08.08 常磐津節「関の扉」「三ツ面子守」、第5回常磐津節試演会 音全会、日本伝統音楽研究センター合同研究室
- \* 2017.09.30 常磐津節「三笠山御殿の段」より「鱧七上使」、関西常磐津協会主催第77回常磐津節公演会、国立文楽劇場小ホール
- \* 2017.10.28 常磐津節「子宝三番叟」「新山姥」、可児常磐津教室巴瑠の会主催「素浄瑠璃を聴く会」、美濃歌舞伎博物館相生座
- \* 2017.11 常磐津節（歌舞伎）「釣女」、松竹大歌



舞伎、巡業

- \* 2017.12.06 常磐津節「角兵衛」、『邦楽のひととき』、NHK-FM
- \* 2017.12.09 常磐津節「辰橋」、長唄・常磐津節研究会「双翼会一都の鬼二題一」、安井金毘羅宮金比羅会館広間
- \* 2018.01.14 常磐津節「常磐の松」、関西常磐津協会主催「第20回ときわぎ」、国立文楽劇場小ホール
- \* 2018.01.20 常磐津節「関の扉」、可児常磐津教室巴瑠の会おさらい会、可児市文化創造センター小劇場
- \* 2018.02.01 常磐津節「松島」「八犬義士誉勇猛：富山の段（上・中）」、常磐津節保存会主催『第3回伝承事業成果発表会』（文化庁補助事業）、京都芸術センター
- \* 2018.02.11 常磐津節「将門」、日本伝統音楽研究センター主催時田アリソン所長退任記念第51回公開講座、ウィングス京都
- \* 2018.02.25 新作浄瑠璃「伏見の桃太郎 ゆかりの鬼退治」、第3回伏見子ども歌舞伎、藤森神社参集殿
- \* 2018.03.06 常磐津節「うつぼ猿」「三ツ面子守」、第6回常磐津節試演会 音全会、日本伝統音楽研究センター合同研究室

#### ◆学内委員・役職等

- \* 施設整備に関する会議 副座長
- \* 広報委員会委員、情報管理委員会委員

#### ◆学外委員等

- \* 文化庁 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業（伝統芸能、伝統工芸、文化財保存技術）審査委員
- \* 文化庁 伝統音楽普及促進支援事業審査委員
- \* 京都市芸術文化特別奨励制度審査委員会専門委員会委員
- \* 京都市伝統芸能文化創生プロジェクト推進会議委員
- \* （一社）東洋音楽学会理事
- \* フェニックス・エヴォリューション・シリーズ選考アドバイザー

#### ◆社会貢献活動

- \* 京都市立芸術大学公式クラブ「常磐津部」顧問・指導
- \* 「伏見子ども歌舞伎」指導（京都府地域力再生プロジェクト支援事業・伏見区民活動支援事業）

#### ◆所属学会等

- \* （一社）東洋音楽学会、楽劇学会、藝能史研究会、歌舞伎学会、洋学史研究会
- \* （一社）関西常磐津協会、常磐津協会

## 武内 恵美子

科学研究費補助金 基盤B「近代移行期における「音」と「音楽」—グローバル化する地域文化の連続と変容—」（平成27～30年）（課題番号：15H03232）（分担）

科学研究費補助金基盤C「江戸時代の藩校における音楽教習・楽実践から楽思想構築に至る楽文化の総合的研究」（平成28～31年）（課題番号：16K03022）（代表者）

#### ◆著作活動

- \* 2017.05 「日本における琴の歴史的展開—江戸時代を中心に」『琴縁四海』古琴文化国際交流系列活动 配布資料（2017年5月）
- \* 2017.06 論文「岡山藩学校と浦上玉堂の雅楽知識」『日本伝統音楽研究』14号 pp.1-17（2017年06月）

#### ◆口述活動

- \* 2017年3月23日 「日本の儒学と音楽」山東省：山東大学芸術学院
- \* 2017年4月14日 「古琴在日本的受容」浙江省：浙江琴社
- \* 2017年5月2日 「日本の古琴歴史と発展」古琴文化国際交流系列活动 古琴口座・雅集 中国：江蘇省国画院美術館
- \* 2017.07.13-19 “Theory and Practice of Music for the Samurai Class During the Edo Period -As an Example Hirosaki Domain-” The 45th International Council for Traditional Music (ICTM) World Conference 2018
- \* 2017.8.20 「日本和古琴」《知音天籟》北京：漫

学堂

- \* 2017.9.7 「玉堂琴譜と催馬楽再考」第4回伝音セミナー（2017年度前期）
- \* 2017.9.25 「東臯心越携来之琴与日本的模造琴制作——惣州原丰所制古琴之探讨」第十二回日中音楽比較研究国際学術会議 中国上海市：上海音楽学院
- \* 2017.11.24-26 北京沈香文化周におけるレクチャーコンサート 北京：化彬中心

#### ◆演奏活動

- \* 2017.10.21 台湾茶会「静水流深」における古琴演奏 奈良：おがたまギャラリー「常—nara—」

#### ◆調査・取材活動

- \* 2017.7.15-16 ケンブリッジ大学図書館所蔵菊亭文庫の調査 ケンブリッジ：ケンブリッジ大学図書館
- \* 2017.7.22-23 大英博物館所蔵平松琴仙資料の調査 ロンドン：大英博物館
- \* 2017.8.24 中央音楽学院 張教授との面談 北京：中央音楽学院
- \* 2017.8.25 中国音楽学院 王媛教授、呉文光教授との面談 北京：中央音楽学院
- \* 2017.9.27-10.1 台南孔子廟及び台北孔子廟における釈奠調査 台湾：台南孔子廟、台北孔子廟
- \* 2017.11.13-14 沖縄孔子廟調査 那覇市：孔子廟
- \* 2017.12.2-4 呉剣氏インタビュー調査 北京市
- \* 2017.12.14-17 国会図書館及び弘前図書館調査 東京：国会図書館、弘前図書館
- \* 2018.1.6-8 上海音楽学院 趙維平教授との面談 上海：上海音楽学院

#### ◆学内活動

- \* ハラスメント防止対策委員会委員
- \* 学術委員会委員
- \* 情報管理委員
- \* 附属図書館芸術資料館運営委員会
- \* ギャラリー@kcua 運営委員会
- \* 学内非常勤（担当科目：日本音楽史（後期））
- \* 2017.5月—6月（隔週土曜日、全4回）講義「で

んおん連続講座C 琴の諸相と京都の琴3」27年度前期 京都市：京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

- \* 2018.1月—2月（隔週土曜日、全3回）講義「でんおん連続講座I 京都の琴4」27年度後期 京都市：京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

#### ◆対外活動

- \* 東洋音楽学会西日本支部委員（支部事務局担当）
- \* 京都府立大学非常勤講師（2017.04-2017.09）
- \* 京都造形芸術大学非常勤講師（2017.04-2017.09）
- \* 関西学院大学非常勤講師（2017.09-2018.03）
- \* 文化庁芸術祭委員（関西・音楽部門）
- \* 所属学会 日本音楽学会、楽劇学会、東洋音楽学会、弘前大学史学会、International Council for Traditional Music, Society for Ethnomusicology